

平成26年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1491000046	事業の開始年月日	
		指定年月日	
法人名	株式会社 ウイズネット		
事業所名	グループホームみんなの家 横浜緑園都市		
所在地	(ない。日中に、) 神奈川県横浜市戸塚区名瀬町3039		
サービス種別 定員等	☐ 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	☒ 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18名
		ユニット数	2 ユニット
自己評価作成日	平成27年1月7日	評価結果 市町村受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 http://www.rakuraku.or.jp/kaigo/w10/wp_IDetails.aspx?IGNO=ST1491000046&SVCD=320&THNO=14100

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

--	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評 価 機 関 名	株式会社フィールズ		
所 在 地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橘1-2-7 湘南リハウスビル4階		
訪 問 調 査 日	平成27年2月10日	評 価 機 関 日 評 価 決 定 日	平成27年4月23日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

事業所は、相鉄線緑園都市駅より、アップダウンのあるバス道路を9分程歩いた場所にあるグループホームです。周りはマンションや一戸建ての閑静な住宅街です。幹線道路から少し入った所にある事業所の前には、緑豊かな竹林があり静かです。竹林と事業所の間の道路は駅に向かう近道なので、時折近所の人が通っています。

＜優れている点＞

安全対策に努めています。転倒の恐れのある利用者の部屋には床にクッションマットを敷いたり、家具やクローゼットの角の一部にクッションテープを施すなど、事故防止に努めています。また、ふらつきのある利用者にはナースコールをベッドの下に置き、起き出すと反応するように工夫をしています。反応はリビングの壁にランプが付き、すぐに職員が駆けつけ介助することで事故を未然に防いでいます。職員からの提案で、利用者の「傷チェック」を1日2回行っています。こまめに身体のチェックをすることで、いつ、どのような時に傷が出来たのか原因を特定することが出来、すばやく対策が講じられています。毎日のことなので、職員の意識も高まっています。

<工夫点>

排泄チェック表には、排泄の目安となる量が飴やバナナの写真で提示しており、誰が見てもわかるように工夫をしています。また、週に1回、「ケアマネの日」を設け、ケアマネジャーはケアプラン作成に専念できる時間を作っています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ～ 14	1 ～ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ～ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ～ 35	9 ～ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ～ 55	14 ～ 20
V アウトカム項目	56 ～ 68	

事業所名	グループホームみんなの家 横浜緑園都市
ユニット名	1ユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1, ほぼ全ての利用者の
		○	2, 利用者の2/3くらい
			3, 1日に最低1回は散歩にお連れする
		○	4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1, 毎日ある
		○	2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
		○	3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ全ての家族と
		○	2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
		○	3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
		○	3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1, ほぼ全ての職員が
		○	2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
		○	2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1 ###	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に なげている。	利用者様・家族様・職員が「笑顔」で 過ごせるように、管理者と職員で実践 出来るように努めています	職員で作った事業所の理念は法人の理 念と共に事務所の目につく場所に掲 示しています。職員は常に笑顔を心 がけて利用者の支援をしています。大 声を出す利用者を否定せずに笑顔で 接し続けたことで、症状が落ち着き 大声を出さなくなっています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし 続けられるよう、事業所自体が地域の 一員として日常的に交流している。	町内会に入会し、地域の行事の準備 や後片付けに声を掛けていただき、 職員が手伝いに参加しています	町内の夏祭りの準備などに毎回職員 が出向いており、町内会の中で頼り になる存在となっています。また、散 歩や外気浴の時には近隣のひととあ いさつをかわしています。事業所の 避難訓練は、回覧板で地域に知らせ して参加を募っています。	事業所が地域の一員としてつ ながりを深めるためにも、日 常的に交流し、気軽に事業所 に来てもらえるような工夫が 期待されます。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 レクリエーションが、あまり行なえて いない。日中に、入居者様がテレビ を観ている事が多い。	1日に最低1回は散歩にお連れする。			
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービ スの実際、評価への取り組み状況等 について報告や話し合いを行い、そ こでの意見をサービス向上に活かし ている。	ホームの活動状況・日々の変化する 現状を報告し、話し合いの中で頂い た意見をケアの向上に活用するよう にしています	運営推進会議は2か月に1回、家族、 町内会長、地域ケアプラザ職員、オ wner等が参加して行っています。事 業所の活動報告の後、出席者の質 問や意見交換などが行われています。 散歩のボランティアの話が出て、現 在、事業所で検討しています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に 取り、事業所の実情やケアサービスの 取組みを積極的に伝えながら、協 力関係を築くように取り組んでいる。	戸塚区主催のグループホーム連絡会 に出席し、交流や情報交換を行って います	戸塚区の保護課とは密に連携を取り 合っており対応しています。区主催の グループホーム連絡会が2か月に1 回行われ、様々な研修に参加したり、 他事業所や行政との情報交換の場 として有効に活用しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	法人としては研修会を開催しています。原則を理解した上で、入居者様の安全対策上「玄関」は施錠しています。散歩等の外出は職員同行で希望の時に掛けられています	身体拘束については、職員会議やフロア会議でも取り上げ、言葉で利用者の行動を制止していないかなど、振り返りをしています。家族が拘束をすることを望んでいても、介護者の勝手な判断で実行してはならないなど確認をしています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている。	法人として研修会を実施しています。ホームとしてもスタッフ会議を通じ防止に努めています		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	法人として研修会を実施している		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の締結・解約又は改定の際は、十分な説明を行い理解、納得していただくようにしています		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族様がホームに来られた時には、管理者や職員に要望や意見を表せる事が出来るように努めています。また、苦情相談窓口は重要事項説明書にてお伝えしています。本社に電話やメールを送る事も出来ます	管理者や職員は家族が来所した時には積極的に声掛けをし、世間話の中から本音が聞けるように努めています。また、2か月に1回家族会を行い、和気あいあいとした雰囲気の中、意見等が言いやすくなる工夫をしています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	スタッフ会議や常時職員から個別に意見を聞く場を設け運営に反映するように努めています	管理者は積極的に職員に話しかけたり、話を聞く努力をしています。その結果、職員は思いついたらすぐに管理者に意見を言うようになっていきます。1日2回の利用者の「傷チェック」も職員の意見から始めています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	自己評価・管理者評価・ミーティング・個別面談により多くの声を聞く努力をしています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	社内研修制度や自治体等の研修等の情報を提供し、スキルアップを奨励しています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	横浜市及び戸塚区主催のグループホーム連絡会に出席し情報交換を行っています。また、ホーム長研修、社内研修等でサービスの質が向上していくように取り組んでいます		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ホームに慣れず不安な時には、職員が傾聴し、安心していただけるような関係づくりに努めています		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	家族様が困っていた事、心配な事、要望等をお聞きし、安心出来る関係作りにつとめています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人、家族様にご要望、状況をお聞きしながら、必要な支援を見極め、ホームでの生活を支援しています		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	人生の先輩として、職員に色々とお話しをして下さります。ご自分の出来る事をしていただき、やりがいを感じていただけるように支援するように努めています		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	面会に来られた時には、直接近況報告させていただいています。また、状況が変わるたびに随時報告し、ホームでの様子をお伝えしています		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご本人が入居されるまでの馴染みの人が訪問出来るように支援しています	友人、知人が訪ねてくる利用者がいます。お茶を出してゆっくり過ごせるように配慮をしています。毎週家族と過ごすために外出する利用者もいます。昔から通っていた教会の人が訪ねてきたり、家族の協力のもと教会に通っている利用者もいます。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者様が孤立する事がないように、体操や歌のレクを通じてコミュニケーションを取って頂きながら、支え合えるような支援に努めています		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	入院等で退去された家族様には、その後の様子をお聞きしたり、相談等の支援に努めています		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	意向をご本人様からお聞きしたり、自己主張出来ない方は、日常生活の中から把握し、スタッフ会議の中で検討しています	利用者から思いや希望、意向などを常に聞いています。困難な利用者は、家族から聞いたり、表情や仕草などから推し量っています。長年の付き合いで、言わなくても察知できるような関係が作られています。情報は職員全員で共有しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居に際し、生活歴・環境これまでのサービス利用の経過等を、ご本人・家族様から伺っています。その後も会話の中から把握に努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日の生活記録や申し送り・連絡ノートにより職員が情報を共有し、把握に努めています		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ご本人・家族様から要望意見を伺ったうえで、モニタリングを実施し介護計画を作成しています	利用者、家族の意向を反映し、担当者会議にて情報を取り入れ、話し合い、介護計画作成者が暫定1ヶ月のケアプランを作成します。その後モニタリングをし、6ヶ月に1回のケアプラン作成となっています。変化があればその都度見直しをしています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	毎日の生活記録や申し送り、連絡ノートにより職員が情報を共有し、現状把握に努め、実践や介護計画の見直しに活かしています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	その時どきに、生まれるニーズに対応する為、往診医だけでなく、シニアセラピーや訪問マッサージ等柔軟に支援しています		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	緑の中を散歩したり、散歩の途中で花を見つけたりされています。歩行が困難な方も車椅子で緑の中を散歩されたり、外気浴を楽しんで頂けるように支援しています		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	ご本人・家族様の希望を大切に、かかりつけ医から適切な医療が受けられるようにしえんしています	利用者や家族の意向を尊重して、かかりつけ医を決めています。協力医や看護師とは、24時間の連携体制ができています。また職員も利用者の健康管理に気を配り、訪問診療や受診などの情報も利用者、家族、医師などと共有しています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	訪問看護師に報告・相談する事で適切に受診を受けられるようにしえんしています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力病院があり、入院時には利用者様の情報交換を速やかに行っています。また、退院時には、往診医・訪問看護と情報交換をおこなっています		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	去年の春、ホームとして初めて看取りを経験し、今年は4名の方の看取りを経験しました。重度化が進み家族様と終末期のあり方について話し合い、事業所で出来ることを説明し、ご理解いただきました	重度化や終末期に向けた対応には「指針」があり、職員に徹底されています。利用者や家族の希望を聞くとともに話し合い、事業所のできることでできないことを説明しています。利用者、家族、医師及び職員が連携して対応しています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	スタッフ会議の時に、訓練、指導を実施しています		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回の防災訓練で、職員が利用者様を避難出来る方法を全職員が身につける事が出来るように努めています	毎日「防災チェック表」で防災を確認し、年2回、夜間を想定した避難訓練も実施しています。スプリンクラーや煙感知器なども備えています。非常食として、ビスケットなどもミキサー食などの利用者用として備蓄しています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	誇りやプライバシーを損なう事がないように声掛けや対応は人生の先輩として尊重し対応しております	「接遇スタンダードマニュアル」などで職員研修を実施しています。接遇にあたっては、利用者の生活歴や環境などを常に考えて利用者の尊厳を守るようにしています。利用者の呼び方も、利用者や家族と話し合い、利用者個々に決めています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご本人が思いや希望を汲み取れるように、傾聴し自己決定が出来るように、努めています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者様のペース、状態に応じた支援をするように努めています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	訪問美容の際には、カット・パーマ等利用者様が選んで頂けます。好きな服を選んで着て頂けるように支援しています		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	調理は職員が行い、利用者様には配膳、食器洗い、片付け等を職員と一緒にしていただけるように支援しています	食材は業者から配達を受け、調理専門の職員が調理しています。調理はミキサー食などの食事形態に合わせ、味付けも利用者に合わせるようにしています。食事は職員が利用者と一緒にし、片付けなどでもできる利用者には手伝ってもらっています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事量、水分量を記録し体調変化があった際のデーターとして主治医に報告し指示を頂いています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	利用者様の状態に応じて、毎食後の口腔ケアを支援しています。また、月2回の歯科医、月4回の歯科衛生士訪問に指導していただいています		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄チェック表にて1人1人の排泄パターンを把握し、声掛け、誘導を行い自立に向けた支援を行っています	「排泄チェック表」で利用者の排泄パターンを把握し、プライバシーを尊重した声掛けやトイレ誘導を行い、排泄の自立に向けた支援を行っています。布パンツでの失禁を気にする利用者はリハビリパンツを活用して、安心して過ごしています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	水分補給や体操を行い排便につながるように努めています。排泄チェック表にて1人1人の排便状況を把握し、排便困難な利用者様においては往診医に報告し、指示をいただいています。訪問看護師に腸の動きを確認していただいています		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	毎日入浴される方は、希望の時間に楽しめるように配慮しています。入浴拒否される方も気長に声掛けし入浴していただけるように支援しています	浴槽は2階と1階にあり、1階の浴槽にはリフトを装備し、また、取り外し可能な手すりも装備しています。湯は毎回入れ替え、利用者の希望する昼間の時間帯に入浴を楽しめるように配慮しています。柚子湯など季節の入浴も楽しんでいます。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	利用者が眠たい、横になりたい時にいつでも居室で休息したり安眠出来るように支援しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	利用者が使用している薬の目的を職員が理解できるように努めています。入居者の体調変化が見られた時は往診医に報告し、服薬の指示、確認をしています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	利用者のお好きな事を把握し、楽しみごと、気分転換が出来るように支援しています		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	家族様の協力で、お墓参りや外食等の外出に出掛けられている利用者様もおられます	散歩を希望する利用者にはできるだけ対応しています。家族が付き添い、墓参りや外食などに出かける利用者もいます。介護度の高い利用者が多く、ミキサー食に対応できる飲食店がなくなったことなどで、皆で外出する機会が減っています。	事業所周辺での外気浴を積極的に実施することや、家族や地域住民などの支援を受け、地域の行事などへ参加することも期待されます。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	家族様から「お金」をお預かりし、買い物やパン販売の時に、お好きな物を買って頂く様に支援しています		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	携帯電話を持たれ電話をされたり、家族様に葉書を出されるように支援しています		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	安全・清潔・季節を感じて居心地のいい共用空間になるように工夫しています	1階のリビング・ダイニングには、テーブルやテレビが置いてあるだけで、ゆとりのある落ち着いた空間となっています。共有空間は清掃もいきとどき、車椅子用トイレの3枚扉の隙間には怪我防止用のクッション材を貼っています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	テーブルや座席の位置を変更したりして、利用者様の居場所の工夫をしています		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居の際には、居室に使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地良く過ごせるような工夫をしている	居室には利用者の馴染みの物品が持ち込まれます。また、床にはクッションマットを敷き、タンスやクローゼットの角の一部にもクッションテープを貼り、利用者の安全にも気を配り、居心地の良い居室となっています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	本人の能力に応じて「出来る事」「わかる事」をして頂きながら自立した生活が送れるように支援していきます		

事業所名	グループホームみんなの家 横浜緑園都市
ユニット名	2ユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1, ほぼ全ての利用者の
		○	2, 利用者の2/3くらい
			3, 1日に最低1回は散歩にお連れする
		○	4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1, 毎日ある
		○	2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
		○	3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ全ての家族と
		○	2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
		○	3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
		○	3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1, ほぼ全ての職員が
		○	2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
		○	2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1 ###	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践にっ なげている。	利用者様・家族様・職員が「笑顔」で 過ごせるように、管理者と職員で実践 出来るように努めています		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよ う、事業所自体が地域の一員として日常的に交流して いる。	町内会に入会し、地域の行事の準備や 後片付けに声を掛けていただき、職員 が手伝いに参加しています		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 レクリエーションが、あまり行なえていない。日中 に、入居者様がテレビを観ている事が多い。	1日に最低1回は散歩にお連れする。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価へ の取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そ こでの意見をサービス向上に活かしている。	ホームの活動状況・日々の変化する現 状を報告し、話し合いの中で頂いた意 見をケアの向上に活用するようにして います		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実 情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協 力関係を築くように取り組んでいる。	戸塚区主催のグループホーム連絡会に 出席し、交流や情報交換を行っていま す		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	法人としては研修会を開催しています。原則を理解した上で、入居者様の安全対策上「玄関」は施錠しています。散歩等の外出は職員同行で希望の時に掛けられています		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている。	法人として研修会を実施しています。ホームとしてもスタッフ会議を通じ防止に努めています		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	法人として研修会を実施している		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結・解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の締結・解約又は改定の際は、十分な説明を行い理解、納得していただくようにしています		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族様がホームに来られた時には、管理者や職員に要望や意見を表せる事が出来るように努めています。また、苦情相談窓口は重要事項説明書にてお伝えしています。本社に電話やメールを送る事も出来ます		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	スタッフ会議や常時職員から個別に意見を聞く場を設け運営に反映するように努めています		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	自己評価・管理者評価・ミーティング・個別面談により多くの声を聞く努力をしています		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	社内研修制度や自治体等の研修等の情報を提供し、スキルアップを奨励しています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	横浜市及び戸塚区主催のグループホーム連絡会に出席し情報交換を行っています。また、ホーム長研修、社内研修等でサービスの質が向上していくように取り組んでいます		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ホームに慣れず不安な時には、職員が傾聴し、安心していただけるような関係づくりに努めています		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	家族様が困っていた事、心配な事、要望等をお聞きし、安心出来る関係作りにつとめています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人、家族様にご要望、状況をお聞きしながら、必要な支援を見極め、ホームでの生活を支援しています		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	人生の先輩として、職員に色々とお話しをして下さります。ご自分の出来る事をしていただき、やりがいを感じていただけるように支援するように努めています		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	面会に来られた時には、直接近況報告させていただいています。また、状況が変わるたびに随時報告し、ホームでの様子をお伝えしています		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている。	ご本人が入居されるまでの馴染みの人が訪問出来るように支援しています		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者様が孤立する事がないように、体操や歌のレクを通じてコミュニケーションを取って頂きながら、支え合えるような支援に努めています		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	入院等で退去された家族様には、その後の様子をお聞きしたり、相談等の支援に努めています		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	意向をご本人様からお聞きしたり、自己主張出来ない方は、日常生活の中から把握し、スタッフ会議の中で検討しています		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居に際し、生活歴・環境これまでのサービス利用の経過等を、ご本人・家族様から伺っています。その後も会話の中から把握に努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日の生活記録や申し送り・連絡ノートにより職員が情報を共有し、把握に努めています		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ご本人・家族様から要望意見を伺ったうえで、モニタリングを実施し介護計画を作成しています		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	毎日の生活記録や申し送り、連絡ノートにより職員が情報を共有し、現状把握に努め、実践や介護計画の見直しに活かしています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	その時どきに、生まれるニーズに対応する為、往診医だけでなく、シニアセラピーや訪問マッサージ等柔軟に支援しています		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	緑の中を散歩したり、散歩の途中で花を見つけたりされています。歩行が困難な方も車椅子で緑の中を散歩されたり、外気浴を楽しんで頂けるように支援しています		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	ご本人・家族様の希望を大切にし、かかりつけ医から適切な医療が受けられるようにしえんしています		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	訪問看護師に報告・相談する事で適切に受診を受けられるようにしえんしています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力病院があり、入院時には利用者様の情報交換を速やかに行っています。また、退院時には、往診医・訪問看護と情報交換をおこなっています		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	去年の春、ホームとして初めて看取りを経験し、今年は4名の方の看取りを経験しました。重度化が進み家族様と終末期のあり方について話し合い、事業所で出来ることを説明し、ご理解いただきました		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	スタッフ会議の時に、訓練、指導を実施しています		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回の防災訓練で、職員が利用者様を避難出来る方法を全職員が身につける事が出来るように努めています		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅳ その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	誇りやプライバシーを損なう事がないように声掛けや対応は人生の先輩として尊重し対応しております			
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご本人が思いや希望を汲み取れるように、傾聴し自己決定が出来るように、努めています			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者様のペース、状態に応じた支援をするように努めています			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	訪問美容の際には、カット・パーマ等利用者様が選んで頂けます。好きな服を選んで着て頂けるように支援しています			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	調理は職員が行い、利用者様には配膳、食器洗い、片付け等を職員と一緒にさせていただけるように支援しています			

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事量、水分量を記録し体調変化があった際のデーターとして主治医に報告し指示を頂いています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	利用者様の状態に応じて、毎食後の口腔ケアを支援しています。また、月2回の歯科医、月4回の歯科衛生士訪問に指導していただいています		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄チェック表にて1人1人の排泄パターンを把握し、声掛、誘導を行い自立に向けた支援を行っています		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	水分補給や体操を行い排便につながるように努めています。排泄チェック表にて1人1人の排便状況を把握し、排便困難な利用者様においては往診医に報告し、指示をいただいています。訪問看護師に腸の動きを確認していただいています		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	毎日入浴される方は、希望の時間を楽しめるように配慮しています。入浴拒否される方も気長に声掛けし入浴していただけるように支援しています		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	利用者様が眠たい、横になりたい時にいつでも居室で休息したり安眠出来るように支援しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	利用者様が使用している薬の目的を職員が理解できるように努めています。入居者様の体調変化が見られた時は往診医に報告し、服薬の指示、確認をしています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	利用者のお好きな事を把握し、楽しみごと、気分転換が出来るように支援しています		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	家族様の協力で、お墓参りや外食等の外出に出掛けられている利用者様もおられます		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	家族様から「お金」をお預かりし、買い物やパン販売の時に、お好きな物を買って頂く様に支援しています		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	携帯電話を持たれ電話をされたり、家族様に葉書を出されるように支援しています		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	安全・清潔・季節を感じて居心地のいい共用空間になるように工夫しています		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	テーブルや座席の位置を変更したりして、利用者様の居場所の工夫をしています		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居の際には、居室に使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地良く過ごせるような工夫をしている		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	本人の能力に応じて「出来る事」「わかる事」をして頂きながら自立した生活が送れるように支援していきます		

平成26年度

目標達成計画

事業所名グループホームみんなの家 横浜緑園都市

作成日： 平成27年5月18日

優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた 具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1		散歩の回数が減ってきた。 外気浴もあまり行なえていない。	1日に最低1回は散歩にお連れする。	まずは、外気浴を1日1回必ず行うように取り 組み、徐々に散歩にお連れしていく。	6ヶ月
2		レクリエーションが、あまり行なえていない。 日中に、入居様様がテレビを観ている事が多 い。	大きな行事（クリスマス会等）以外にも、1、2 階の入居様様を交えたレクリエーションを再開 する。	中止となっていた、誕生日会を再開し、レクに ついての企画会議を行い、様々なレクを行って いく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月